



# さいかい

2019.3  
vol **105**

めざせ ナンバーワンの県学会！



平成31年3月30日(土)・31日(日) 開催

- ❑ 第53回日本作業療法学会 案内
- ❑ 発達トピックス「発達障害を考える」
- ❑ 日本DCD学会in長崎 案内
- ❑ 第52回日本作業療法学会 報告
- ❑ 九州PTOT合同学会2018in沖縄 報告
- ❑ 県士会補助金事業報告 福祉用具展示会
- ❑ 達人tell me 心をうごかせ！  
series1～活動と参加が向上する作業療法～
- ❑ 県士会版会員情報サイトがスタートします
- ❑ 臨床実習指導者に関する規定が変わります
- ❑ 平成30年度 広報活動報告
- ❑ 長崎県作業療法士連盟 発足
- ❑ 第26回長崎県作業療法学会のご案内





# 第53回 日本作業療法学会

The 53rd Japanese Occupational Therapy Congress & Expo in Fukuoka 2019

作業療法研究のターニングポイント  
The Turning Point in Occupational Therapy Research



学会長 東 登志夫

長崎大学生命医科学域（保健学系）

## ～学会開催にあたって～

本年(2019年)9月6日(金)から8日(日)の日程で、第53回日本作業療法学会が福岡市の福岡国際会議場及び福岡サンパレスで開催されます。今回の学会は、私が学会長を務めさせていただくことになっています。中には、どうして福岡県で開催されるにも関わらず、長崎県に在籍している私が学会長なのか疑問に思われる方もいるかもしれませんが、実は第50回から学会運営の主体が、それまでの都道府県士会から協会へと変更となったことで、協会の学会運営委員会で全ての企画、運営が決定されるようになったためです。

これまで、私は学術誌「作業療法」の編集委員会委員や、学術委員会での業務の中で、「作業療法」に投稿された論文や、日本作業療法学会の演題の分析等を行う中で、作業療法の研究に占める事例報告の割合が高く、作業療法の効果を証明するエビデンスレベルの高い研究が少ないことを報告してきました。また協会の学術データベースの構築や、作業療法ガイドラインにも関わらせていただく中で、作業療法に関するエビデンスを構築していくことの重要性を痛感いたしました。



エビデンスに基づく医療(Evidence-Based Medicine: EBM)が推奨されるようになってから30年以上が経過し、医療分野全体においてEBMに基づいた診療ガイドラインの作成が推進されるようになってきています。したがって、今後は、これまで以上にエビデンスレベルの高い方法論を用いた臨床研究に取り組んでいくなど、作業療法の学術的根拠の基盤整備に向けた努力を行っていく必要があります。

一方、日本に作業療法士が誕生してから約半世紀を経て、作業療法士の職務内容は多様化し、その活動の場も様々な領域に広がってきました。このような背景に対応すべく、日本作業療法士協会では、2018年5月に33年ぶりに「作業療法の定義」を改定しました。また、2020年4月からは、養成教育において新しい指定規則が適応となります。このように作業療法を取り巻く情勢は、今まさに転換期に来ていると言っても過言ではありません。

そこで、今回の学会のテーマは「作業療法研究のターニングポイント(The Turning Point in Occupational Therapy Research)」とさせていただきます。このテーマには本学会が我が国の作業療法研究のレベルアップに向けた転換点となるようにとの願いを込めさせていただきました。学会のプログラムもこのテーマに合わせて、皆様に興味を持っていただけるように企画しました。今回は学会から、新しい取り組みとして優秀演題賞の表彰も創設いたしました。今回は福岡市で開催ということで、比較的に出張しやすいと思います。是非、多くの方々にご参加いただき、活発な議論ができる学会としたいと考えております。皆様のご協力をお願い申し上げます。

発達障害についてテレビで取り上げられるようになって、しばらく経ちます。最近は著名人が自ら発達障害であることをカミングアウトしたり、よりクローズアップした特集が組まれるようになっていきます。またテレビや書籍だけでなく、インターネットやSNSなど様々な媒体を通じて発達障害に関する内容が発信されています。当事者やその家族のニーズが広がり、支援者に求めるものが高まり、そのような現状の中、幅広い知識と質の高い専門性を持った作業療法士が必要になると考えられます。今回は発達障害への理解を再確認すると共に、長崎大学が取り組んでいる「子どもの心の医療・教育センター」を紹介します。

### 項目別にみた特性・生活上の困難さ

|                     | 特性                                                                                | 生活上の困難さ                                                                                    |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自閉スペクトラム症<br>(ASD)  | ◇対人的コミュニケーションや社会的行動の問題<br>◇興味関心の偏りや感覚の特異性を有する<br>◇不器用さを併せて持つことが多い<br>※脳内の情報処理の特異性 | ●対人トラブルが生じやすい。<br>●就労で早い段階での離職につながるが多い。<br>●感覚刺激における過剰反応などによって生活自体(買い物など)に支障がある。           |
| 注意欠如・多動症<br>(ADHD)  | ◇多動・衝動型、不注意型、混合型<br>* 脳内の情報伝達の特異性<br>⇒実行機能と報酬制の弱さ                                 | ●授業中、座って学習することが難しい<br>●叱責が受けやすく、自己評価が下がりやすい。<br>●仕事の段取りができずに物事を上手く運べない。                    |
| 限定性学習症<br>(学習障害、LD) | ◇知的発達に遅れはない<br>◇「読む」「書く」「聞く」「話す」「推測する」などに困難さや学習への支障が見られる<br>◇不器用さやADHDとの混合        | ●教科書を読むことが難しく、習得しにくい。<br>●学習への意欲が下がりやすく、学校における対人関係などに影響を及ぼすことがある。<br>●書類作成など業務を遂行することが難しい。 |

※診断名はDSM-5による記載

### 長崎大学子どもの心の医療・教育センター

#### 【開設された経緯】

2014年 佐世保市で高校生の同級生殺人事件発生。

加害生徒には発達障害があったとされた。

2016年12月 長崎大学が子どもの心を支援するセンターを開設

#### 【センターの4つの取り組み】

##### 『医・教』共同教育プログラム

教育学部・医学部保健学科で共修を行い、  
医療と教育、両方面の知識と技術を持つ人材を育成

##### 職業実践プログラム

県内のOTや教師・療育関係者を対象とした研修を  
Eラーニングを通して実施。発達障害や子どもの心の  
支援を学ぶ  
\* 2019年度の募集は終了

##### 学校・保育園などの訪問支援

社会適応や心の支援が必要な子どもへの 教育・  
保育現場などにセンタースタッフが訪問し助言等  
の支援をする

##### 県内各地域でのネットワーク作り

県内各圏域において教育・医療・福祉・就労などの関係  
者のネットワークを構築し、各地域における 支援体制  
を築く

### 副センター長 岩永竜一郎先生 に聞いてみた♪

#### 【センターにおけるOTの役割】

「訪問支援における学校現場の問題は、発達障害、精神疾患、身体症状と多種多様であり、OTはそれぞれの領域での知識とスキルを持っており、様々な子どもの問題に対応できます。またOTは対象者だけでなく、環境への働きかけもでき、先生たちや保護者への指導や物理的環境の整理ができ、OTの力が発揮できます」

長崎大学 子どもの心の医療・教育センター  
www.cme.nagasaki-u.ac.jp



# 日本DCD学会 in 長崎

4月13日に発達性協調運動症(DCD)に関する学会が長崎で開催されます。  
発達障害についてメディアで特集され、その中で「不器用さ」にも注目されるようになってきています。

今回DCD学会の事務局長である東恩納拓也先生にDCD学会に関してお話を伺いました。

## Q：今回の学会の内容について教えてください

A:教育講演として、中井昭夫先生(武庫川女子大学教育研究所)の「M-ABC2を用いた臨床研究と日本語版の開発」と鴨下賢一先生(静岡県立こども病院)の「日常生活・教室で生きる不器用さのある子への支援」を予定しています。また、カナダのトロント大学から Helene Polatajko 先生を招き、特別講演をしていただきます。他にも当事者、教育、医療、福祉と様々な立場のある方々による「明日からできる不器用さのある子へのアプローチ」をテーマにシンポジウムを開きます。

## Q：特別講演をされるHelene Polatajko先生の研究について教えてください

A:Polatajko 先生はカナダ作業遂行モデル(CMOP)の開発チームの一員で、その子に一人一人に意味のある活動に合わせて、焦点を当てたアプローチを行っています。先生が研究・実践しているCO-OP(Cognitive Orientation to daily Occupational Performance; 日常作業遂行に対する認知オリエンテーション)で、今大会の講演もそれらを含めた内容を予定しています。CO-OPでは活動で遂行において協調性や運動コントロールが困難な人が自分の問題を語り、どのようにしたら上手いけるか計画をして、実施、そしてフィードバックを行い、活動を上達させていきます。

## Q：今大会の意気込みや魅力を教えてください

A:大会テーマが「明日からできる不器用さのある子へのアプローチ」で、不器用な子たちを目の前にする職種が実行委員に多くいることもあり、大会は実践的な内容になっていきます。臨床現場での DCD に対するよりよいアプローチができていないか疑問のあるところもあります。今大会は日本で先進的に DCD を研究・活躍されている先生方のお話があり、DCD に対する実践的な日本の現状が知れる大会になると思っています。学会に参加した人たちが、それぞれの職場に持ち帰って、不器用な子たちへ、すぐに実践できるような知識が提供できればと思っています。幅広い職種の方々に参加してもらえればと思っています。

### [第3回日本DCD学会学術集会]

【大会テーマ】明日からできる不器用さのある子へのアプローチ

【開催日時】2019年4月13日(土) 14日(日)

【大会長】岩永竜一郎(長崎大学大学院医歯薬学研究科)

【開催地】長崎大学医学部記念講堂

【大会HP】<http://dcdjapan.main.jp>

#### <日本DCD学会>

DCDの理解および支援、実践を広く啓発していくことを目的に発足

2016年:名古屋にて日本DCD研究会を開催

2017年:第1回学術集会(兵庫県)、2018年:第2回学術集会(青森県)



### [発達性協調運動症 Developmental coordination disorder ; DCD]

日常生活における協調運動が本人の年齢や知能に応じて期待されるものよりも不正確であったり、困難である。日常生活活動や学業などで支障が起きている。また、それらは知的能力障害、視力障害、運動に影響を与える神経疾患によるものではない。

OTを中心に医療・福祉・教育とそれぞれの場所で「不器用さ」で悩む人々と日常から関わるスタッフが企画や運営に携わっています。興味のある方はぜひ参加してみましょう！



参加して  
きました！

# 第52回日本作業療法学会



～根拠に基づいた作業療法の展開～



名古屋城



学会会場



犬山城

平成30年9月7日～9日までの3日間、名古屋国際会議場で日本作業療法学会が開催されました。振り返ってみるとなかなか参加する機会がなく、平成24年以来6年ぶりの参加。どの演題も聞きたいと欲張りになってしまうほど魅力的で選ぶのが大変でした。オープニングセミナーやナイトセミナーも充実しており驚き！

聴講する中で、病院ごとに取り組みは特色がありましたが、患者自身が何に興味を持ちどのような事を想っているのかをしっかりと捉えアプローチすることで、結果が生まれたという発表が多かったですね。私自身精神領域での従事はまだ1年半であり、知識や技術共に未熟ではあるのですが、果たしてきちんと患者様の思いを聴取することができているのか、適切な対応やアプローチができているだろうかと自身の患者様との関わり方を見直す機会となりました。それに加え自分の知らない評価やアプローチ方法なども、たくさん学ぶことができました。今大会テーマは“根拠に基づいた作業療法の展開”ですが、私達一人一人が根拠に基づき結果を出す重要性や、それらを学会等を通して成果として発表すること、他のOTが取り組んで効果が得られた治療や介入方法を活かしながら、日々の患者様と向き合い、エビデンスを高めOTの質を上げていく必要があると再認識しました。



熱田神宮



三光稲荷神社



猿田彦神社



大須観

熱田神宮は三種の神器「草薙神権」が祀られていますが、見るのをすっかり忘れてしまい、後で後悔。またの機会に?!

大須観音がある大須商店街は、ここは日本なのかと思うほど世界中のお店や人があふれかえり不思議な雰囲気。

## 学会参加のもう一つの楽しみと言えば“観光”♪ いろんな観光地を巡りリフレッシュ!!

名古屋ということもあり、実はどこに行こうかと学会参加前からウキウキ。行ったことのない場所に行くことや、お城や神社仏閣巡り、カメラで写真を撮ることが好きなので3日間とも学会の合間をぬって充実した観光をすることが出来ました。

↓写真は巡った場所の写真です。また夜には、天神病院の中島さんと“名古屋めし”を制覇しようという目標を掲げ、名古屋栄の繁華街で食べ歩きました。街にいる地元の人に声をかけ、おいしいお店をリサーチし、名古屋めしは大体食べつくすことができ目標達成できました！今回学会に参加し、新たな知識の習得



や自分自身が臨床で実施している事の振り返りや、日頃困っていることに対してのヒントを得ることもでき、たくさんの学びと自分も頑張らないといけないという刺激を受けることができました。学会を通して少し視点を広げることが出来たと思います。学んだことを活かしつつ、さらに患者様の思いをくみ取り、寄り添った関わりをしていきたいと思っています。

今年度の長崎県学会の案内チラシが名古屋に!! 全国学会に負けないぐらいに盛り上がりそうな予感が♪



## 九州理学療法士・作業療法士合同学会 2018 in 沖縄

リハビリテーションの分科と創造 ～40年を温めて、新しきを知る～



2018年10月13日・14日に開催された「九州理学療法士・作業療法士合同学会2018in沖縄」に参加してきました。実は恥ずかしながら、理学療法士・作業療法士合同学会の参加は初めてでして・・・それに加えて沖縄での開催。学会に参加されたスタッフの皆さんと食べて飲んで、(観光して)飲んで、飲む!!楽しく充実した2日間を過ごせました。

長崎県作業療法士会ホームページ、会長のコラム(2017. 1. 26をぜひ参照ください♡)にもありましたように、九州理学療法士・作業療法士合同学会は第36回をもって最後となりました。

第2回の「九州地区理学療法士研究会」から作業療法士が参加し、第11回より「理学療法士・作業療法士合同学会」と名称が変わり、全国でも唯一、理学療法士と作業療法士が合同で開催してきました。各々の職域に関して発表し、どのような視点や評価から問題点を抽出し、アプローチを展開させていくのかを知る事によって、お互いに理解を促進する良い機会であったと思います。

今回438演題の発表があり、内容は領域の幅が広く、かつ専門的であったと思います。今回は「自動車運転支援」「認知症」「地域包括支援」「教育関連」を中心に講演、ポスター発表、口述発表に参加しました。多くの発表を拝聴し話題となっているテーマやトピックスに触れる機会になりました。個人的な印象ですが、MTDLP関連の生活に焦点化し、生きがいや意味のある動作や活動を訓練に取り入れた報告に加え、理学療法士も含めて心理、精神面(満足度、達成度、高次脳機能面等)に焦点化した報告が多かったように思います。

学会に参加すること、情報収集のほかにも、同職種、多職種の活動を知り、聞くことで自分自身が感化される機会にもなります。その他にも学友や恩師、同期入社の友人や先輩に会える機会でもあり、今回学会の懇親会は「裏企画プットゥルーフェス」と題し、色んなゲームイベントがあり、上司とゴーヤやサーターアンダギーを食べ、泡盛を飲みかわす等、交流を交わす機会にもなりました。

近年職場環境も多様化し、必ずしも土日休みとは限らず、学会に参加しにくい職場環境もあると思います。



しかしまだ学会に参加したことのない作業療法士の方…学会って「難しいそう…」「時間や費用がかかる」「自分とは関係ない」と思う方もいるでしょう。しかし、参加するだけでも、発表者と話しを通しモチベーションUPにつながりますよ!まずは学会に参加してみましょう。



今後は九州作業療法士各県士会が一丸となり、県学会や九州作業療法士学会を盛り上げていく必要があります。専門職種の学会となるためより作業療法士として専門性を追求した活動報告が可能になるのではないかと考えております。

まずは!!!!平成最後の学会「第26回 長崎県作業療法学会inSASEBO」平成31年3月30日31日の二日間!!!へ参加してみませんか??





# 長崎県作業療法士会 補助金事業報告

長崎シーティング研究会主催

## 福祉用具展示会

●日 時：平成30年10月27日(土曜日) 12時～16時 ●場 所：長崎市市民会館

●内 容：①移動・移乗用福祉用具の展示と使用体験会（メーカー23社来場）

②下元佳子氏による特別講演 「寝る事・座る事の大切さ」

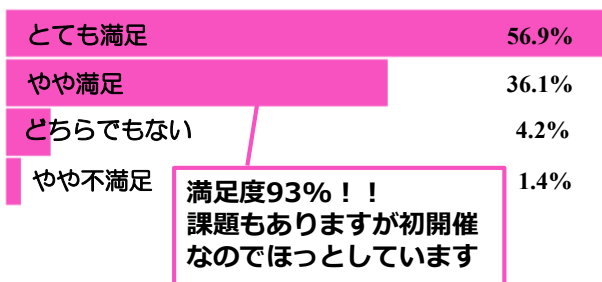
～ノーリフティングケア宣言を行った高知県での取り組み～

●展示協力事業所・メーカー（50音順）

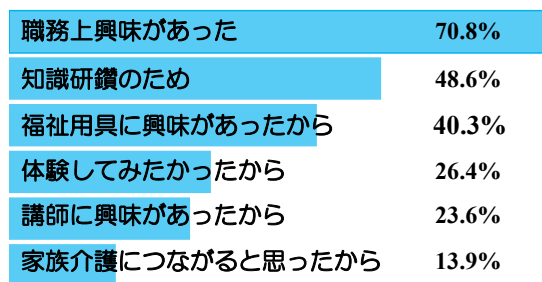
アビリティーズケアネット（株）、アルジョ・ジャパン（株）、ケイ・エム・サポート（株）、サンライズメディカルジャパン（株）、シーホネンス（株）  
タカノ（株）、パラマウントベッド（株）、バンテラ・ジャパン（株）、フランスベッド（株）、ラックヘルスケア（株）、（株）カイダ・アイフルケ  
（株）ケーブ、（株）タイカ、（株）フラッツ、（株）ミキ、（株）モリト、（株）モルテン、（株）ユーキトレーディング（株）松永製作所、  
日進医療器（株）、（有）ダイユウ、（有）リハテック・エフ、（有）三電

126名の方に来場いただきました！！（内訳：一般49名、関係者51名、作業療法士26名）  
100名超えの目標達成と、アンケートでもご好況いただき感謝致します（回答者72名）。

Q. 内容はいかがだったですか？



Q. 参加された目的はどのようなものですか？



### アンケート結果より

展示会に参加した理由の多くは「職務上興味がある」と職場環境でも福祉用具関係に触れる事が多いようです。次いで「知識研鑽、興味がある」との返答が多く、福祉用具関連の研修会のニーズは高いように思います。

展示会開催に関しても90%以上の方に満足頂き、「体験できてよかった」との意見を多くいただきました。一方で、「規模を大きく、種類が欲しい」との意見もあり、今後もこのような情報提供を行っていく必要性を感じました。

### 長崎シーティング研究会とは

2014年に福祉用具(シーティング含)に関心がある6施設のOTとPTが立ち上げた会で、活動4年目になります。

福祉用具の情報交換や身体評価、適応技術の向上に向け、事例検討会や多職種セミナーを開催しています。しかしまだまだ車椅子をはじめとする福祉用具に触れ合う機会が少なくと感じ、今回初めての展示会に至りました。定期的に研修会を開催していますので、一緒に学びを深める機会になれば嬉しいです。皆様の参加をお待ちしています。

### 福祉用具展開催記

稲田 涼子(一般社団法人是真会 通所リハビリテーション銀屋通り)

今回、テーマを「臥位～移乗、移動」とし、車いすやベッド・リフト等の移乗用具を展示・体験出来る『福祉用具展示会』を行いました。市民会館で開催したことで、ちょうど看護フェスタも行われており看護介護等の多職種や一般の参加者も来場いただきました。下元氏の特別講演も50名近くの方が参加され、腰痛予防や福祉用具に対する関心の高さが垣間見えたように思います。

対象者の生活行為を獲得するために、作業療法士は回復期、生活期、どのステージであっても24時間の生活を考える必要があります。環境や福祉用具の適応を視野に入れ心身機能面の安定と生活を組み立てていく必要があります。福祉用具を単なる道具として導入するのではなく、適応はもとより使用方法や適応・禁忌の伝達等のマネジメントも含め必要な情報を共有していくことが大切であると考えており、このような用具展も大切な機会であったと感じています。

セラピストによる福祉用具展示会の開催は4年前のOT県学会以来となります。準備は大変さもありましたが、その経験が活かされた面も多かったです。毎年沢山の新しい福祉用具が出ており、私たちも知識をアップデートしていく必要があります。これからも、用具のスペシャリストであるメーカーの方や使用に関わる多職種、当事者の方も含め皆で情報共有をしていきたいと考えます。多くの学びと出会いがある展示会をまたいつか開催出来ればと思っています。

### 下元氏特別講演の様子



予想を超える50名近くの方に参加いただきました。

日本作業療法士協会では、会員の福祉用具選定及び、適応技術の向上を目的に『福祉用具支援システム』を運用しております。ぜひそちらも登録し活用されてみてはいかがでしょうか。

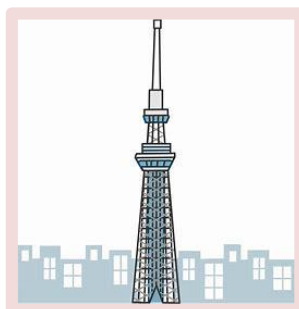




山口健一さん  
エフ・ステージ白木 せいかつのデイ

## 認知症があっても、手足が弱くても皆で力合わせタワー！

制限時間3分！コップと紙を交互に重ねどれだけ高いタワーが作れるか競おう！  
担当を割り振りチーム戦でも楽しめるし、個人戦でも楽しめる万能レクリエーション！



- ①材料を準備    ②コップ2つ→紙→コップ2つを重ねる    ③高く重ねる

### POINT1

- ◎ 雰囲気大切！運動会の曲や盛り上がる曲をかける  
(365歩のマーチは3分でオススメ！)
- ◎ ゲームを始める前に実際にスタッフで行ってみる  
イメージしてもらい取り組む事が大切
- ◎ 利用者さんに合わせてルール変更  
認知・身体機能に応じて多様に追加・変更OK！

## 認知症の方とコミュニケーションを良くする方法7選！

- ①わかりやすく、安心できる話し方を心がける
- ②ゆっくり話す
- ③伝えようと思う気持ち
- ④表情(笑顔)
- ⑤視線を合わせる
- ⑥ジェスチャー・触れる
- ⑦傾聴する

### POINT2

「なぜ？」「どうして？」「どのように？」「誰が？」  
組み合わせて話しを掘り下げながら会話をすることが大切！

達人の山口さん。楽しいレクや  
利用者さんに合った自助具など  
ブログに役に立つ情報が満載!!  
ぜひぜひクリックを！



# 長崎県士会版の会員情報サイトがスタートします

2019年4月(予定)より自身の個人情報と県士会会員の所属が閲覧できる、会員情報を管理する「ネットワークシステム」が稼働します。2年前まで会員名簿を作成していましたが、昨今の情勢もあり名簿作成は廃止しました。その代わりに今回新たに会員情報管理システムを構築し運用することとなりました。このサイトにアクセスするためのURLやログインID、およびpasswordについては、また改めて個別に連絡させていただきます。会員の皆さまはこのサイトを利用することで、これまでの名簿と同様に、地域毎や、分野毎、さらに施設毎に人数やどなたがお務めか把握することが可能です(掲載希望者のみですが、デフォルトは「掲載する」です)。

新しい機能として、研修会受講記録があります。現職者研修受講状況を中心に、MTDLP指導者、臨床実習指導者、専門作業療法士、認定作業療法士などの状態について確認できます。その他の県士会主催研修会参加情報、また県士会役員や部員情報、地域や市町村関連の委員情報なども掲載されます。また会費納入情報についても、比較的迅速に情報が反映することが可能と考えています。



個人情報欄には既に県士会にご報告いただいている情報を基に掲載します。個人IDとpasswordがお手元に届きましたら、登録情報をご確認いただき、現状と異なれば修正作業をお願いします。研修会受講情報についてもご自身の生涯教育手帳と見比べていただき、誤りがありましたら教育局(kyouiku-n@nagasaki-ot.com)までご連絡ください。今後の事務局からの連絡手段の1つとして、個人メールアドレス(キャリアメール不可)の登録にもご協力ください。Fネットの配信についても一新します。アドレスを登録していただければ、今後はそのアドレスに配信します(希望者のみ)。現Fネット配信の終了は6月30日を予定しています。会員の皆様にとって利便性の高いシステムの構築を目指しています。サイトを利用され、お気付きの点などありましたら事務局(jimu@nagasaki-ot.com)までご連絡ください。



## 事務局からのお知らせ

今年度、事務局長交代に合わせて、実務上の「事務局」が移転しています。




郵送物は新住所にお願いします。TEL、FAX、E-mail は変わりなく使えます。

# 臨床実習指導者に関する規定が変わります

約20年ぶりに養成カリキュラムが変更され臨床実習指導者の要件が変更

3年以上の業務経験のみ →

業務経験5年以上かつ、厚生労働省が認める講習会を修了していること。

この新たな規則は2020年度入学生より適応されることになっているため、2021年に指導者不足に陥いることが懸念されています（「見学実習」は講習会未修了でも可能）。多くの会員の皆さまに関心を持っていただけるよう、その内容についてご紹介します。



講習会は2日間延べ16時間。指定規則改正から作業療法教育の本質にまで触れる、講義・演習を繰り返しながら学ぶ内容です。

日本作業療法士協会は「作業療法参加型臨床実習」を推奨しています。対象者一例については指導のもと評価から治療介入まで一連の過程に関わり、実習指導者の一貫した臨床技能、臨床思考過程を学ぶ。他の複数の対象者においては技能単位（各種検査測定・治療介入）で臨床技能の経験を重ね、基本的態度は実習全体の中で学ぶとしています。実習形態を構造化することでそれぞれの目標到達に向けた指導が可能になります。

## 臨床実習の到達目標

臨床実習指導者の指導・監督のもとで作業療法士としての①倫理観や基本的態度を身につける  
②許容される臨床技能を実践できる③臨床実習指導者の作業療法の臨床思考過程を説明し作業療法の計画立案ができる。

これを目標に、実習指導者は今ここで行っていることを説明しながら、学生は「見学」→「模倣」→「実施」の順に体験を重ね習得していきます。

「見学」とは見学前に指導者の視点（目的、内容、方法）を伝えて（説明して）から臨床技能を実演、その見学後に理解度の確認を行うことであり、「模倣」は単にマネではなく、指導者と共同に対象者と関わり、実施後に本人の達成度確認および指導者からのフィードバックを行うこと。「実施」も同様に事前の確認の後、指導者の近接監視のもと、学生は対象者に関わり、実施後にフィードバックをもらうといった指導方法を指します。講義ではそれぞれの段階で動画が用いられ、イメージしやすく構成されています。

またこれらの指導が学生の能動的な行動になるように、双方向のコミュニケーション技術であるコーチング（引き出す）や職業倫理、他職種連携論、そしてMTDLPの活用などの非常に充実した講義ばかりの構成になっています。

来年度から県士会単位でこの講習会を開催する予定です（4月にHPでお知らせします）。

実習施設、養成校、それぞれの立場を超え臨床実習について議論し前進する講習会にしたいと思っています！多くの皆さまにご参加いただけますようご協力をよろしくお願いします。

「作業療法臨床実習指針（2018）」、「作業療法臨床実習の手引き（2018）」がダウンロードできることをご存知ですか？まだ目を通されたことがない方はぜひ、DLしてお手元にお持ちください。（研修会参加者には冊子を配布）



長崎県作業療法士会 教育局 養成教育班  
班長 井戸佳子（長崎リハビリテーション学院）



# 県内各地の広報活動報告

## 南島原市桜祭り in南島原市立口之津中学校



## 南島原市健康福祉祭り in布津町

南島原市健康福祉祭りは市役所の健康対策課が主催で開催されています。参加される他のグループのみなさんとは毎回顔を合わせ、もう知り合いのようになっています。お互いのブースを行き来したり、早く終わったブースから場所を譲ってもらったりと助け合うことも見られ、楽しい雰囲気です。



## 南島原市健康福祉祭り in口之津町



南島原市健康福祉祭りは真夏、炎天下の中、汗だくになりながら永石副会長と二人で作業療法士への相談コーナーを午前中のみ開催しました。そんな中、小さいお子様を連れた4人家族の方がOTブースへOTに興味があると立ち寄られました。お母さんが「以前作業療法士になりたかった。今からでも作業療法士になれますか？学校はどこにありますか」など相談を受けることができました。また逆にこんな活動をしていますと話される方もいらっしゃいました。このような活動に参加すると、OTがどのくらい知られているのを感じることができます。興味・関心が高い参加者もいらっしゃってとても嬉しく思います。



## 佐世保OT啓発活動 in佐世保大塔イオン



## 島原夜市 in柴田長庚堂病院アプリコット



活動を通して「作業療法士という言葉は知っているけど詳しくは知らない」「理学療法士との違いはなんですか」というようなことが聞かれることもあります。しかし「家族が入院してお世話になりました」等と話されることもあり、作業療法士という言葉を知っている方は増えてきたのではないかと感じています。

# 広報局からのお知らせ

各地区の健康福祉祭りや、県士会関連の研修会などでは法被(ぱっぴ)や幟(のぼり)の他、OT紹介パネルなどの貸し出しや、リーフレットやOT漫画などの提供をしています。



ノベルティボールペンを新調!!

長崎県作業療法士会

各イベントで配布できますので、各地区担当へお問合わせを!!  
今後も新たなグッズの企画、そしてよりよい広報活動を検討していきます!



長崎地区: 生田敏明(長崎リハビリテーション病院) ※Fネット担当  
県央地区: 中島彩乃(貞松病院)  
県北地区: 上野歩(養護老人ホームしかまち)  
その他各地区に広報委員がいます。協力者絶賛募集中です!

**Fネットへ掲載依頼は [fnet@nagasaki-ot.com](mailto:fnet@nagasaki-ot.com) まで**

## 長崎県作業療法士連盟 発足

### ～長崎県作業療法士連盟とはなにをするのか?～



長崎県作業療法士連盟 福田健一郎

#### ◆日本作業療法士連盟とは

平成21年に日本作業療法士連盟が発足した政治団体

#### 目的

1. リハビリテーション医療の発展
2. リハビリテーションサービスの充実を目指す
3. 作業療法士全体の社会的地位向上

各職種の政治団体は医師・看護師はもちろん日本理学療法士連盟が平成16年に、日本薬剤師連盟は昭和42年、日本歯科衛生士連盟は昭和55年、日本栄養士連盟は昭和50年、日本臨床検査技師連盟は平成15年に発足していますので、最も遅い設立といえます。

#### ◆なぜ長崎県作業療法士連盟を作ったか?

他職種(Dr・Ns・薬剤師・PT・臨床検査技師)は既に国会議員がいます。  
「OTRの社会的地位向上」のためには、日本OT連盟から国会に送り出す必要があります。  
このことを広く知ってもらうために長崎県作業療法士連盟を発足しました。

#### ◆これから

他の医療職は"自分たちのために"精力的に政治活動を行なっています。OTRを国会に送り出すためには「数」が必要です。OTRの社会的地位向上に賛同する人＝長崎県作業療法士連盟の会員数を増やしていきたいと思っています。  
ぜひ、作業療法士の社会的地位向上にご協力ください。



# 第26回 長崎県作業療法学会



## 実行委員・講師陣のご紹介

### CHANGE

～長崎県を日本一元気な街に  
することができるのは、  
あなたかもしれない～



実行委員長

プログラム

会場

事務局

レセプション

特別企画

演題採択

広報

Maekawa



Ohira



Nakasima



Kubota



Uchino



Maekawa



Tukamoto



Fukusaki



Koide



Chigita



Hinami



### 委員一覧

### 名前

|              |                 |
|--------------|-----------------|
| 学会長          | 塚本 倫央           |
| 実行委員長        | 千北 晃            |
| 会場委員長        | 中島 拓郎           |
| プログラム委員長     | 内野 保則           |
| 特別企画委員長      | 前川 俊太           |
| 演題採択委員長      | 前川 和也           |
| 広報委員長        | 福崎 裕介           |
| レセプション委員長    | 大平 康智           |
| 健康フェスタ委員長    | 小出 将志           |
| 事務局 総務<br>会計 | 久保田 智博<br>牟田 沙織 |
| 県北理事         | 日南 雅裕<br>小出 将志  |

### 教育講演 講師陣

～先輩OTの頭の中を覗いてみたい～



Yamada, G Yamada, M Fukuda Awano

### 特別企画 講師陣

～地域包括ケアシステム～  
佐世保・平戸地区の活動紹介



Maekawa Sakakibara Nisimura Kaneisi



第26回

# 長崎県作業療法学会 市民公開講座

長崎県を日本一元気な街に変えるのは、あなたかもしれない

2019年

3月30日(土) 31日(日)

30日 13:30~15:00

31日 15:00~16:30

佐世保市体育文化館

アルカスSASEBO

入場無料

公開講座Ⅰ 3月30日(土) 佐世保市体育文化館 (大体育室)

13:30~15:00

「共に生きる」

講師：金澤泰子氏 (書家)  
金澤翔子氏 (書家)



市民対象企画

大体育室で健康教室  
も行っています!!

◆インボディ  
◆ロコモチェック

etc

時間：10:00~

●金澤 泰子氏

1943年生まれ、明治大学卒業、柳田流家元に師事、1990年東京都大田区に「久が原書道教室」を開設。

●金澤 翔子氏

1985年東京都目黒区生まれ、2009年鎌倉建長寺、2011年奈良東大寺などで数々の個展を開催。  
2016年より日本福祉大学客員准教授に就任。

公開講座Ⅱ 3月31日(日) アルカスSASEBO (イベントホール)

15:00~16:30

「長崎県を元気な街にするには何が必要か」

講師：菅賢治氏(プロデューサー)

※先着250席、サテライト会場 大会議室200席

●1954年長崎県佐世保市生まれ、

県立佐世保北高校卒業、

1980年日本大学芸術学部放送学科卒

業

1988年日本テレビ入社、

ディレクター、プロデューサーとして

人気番組を企画演出。



お知らせ

菅賢治氏の講演は整理券  
を配布します。

◆配布時間

11:00~12:00

◆場所

アルカス広場



お問い合わせ

第26回 長崎県作業療法学会

E-mail : info-gakkai@nagasaki-ot.com 学会長：長崎労災病院 作業療法士 塚本倫央





あれが九十九島、  
50年ぶりに来たよ！



地域の人たちと  
ゲームで交流！



相手のチーム強かね！  
来年はもっと練習頑張って  
点をとるぞ！



※写真掲載の許可は頂いております

## 編集後記

◆表紙は当院の患者さんの作品です。花紙を丸めて貼っていくのですが模造紙よりも大きい厚紙に貼っているので、出来上がりは結構な大きさなんです。また裏表紙は最近の院内外行事写真です。患者さんの笑顔や一生懸命取り組んでいる姿、意外な一面を見せてもらい私自身日々パワーをもらっています。

◆今号より「達人tell me 心をうごかせ!」と題して新たなコーナーもスタートしました！取り上げてほしいテーマなどがありまし、たら広報局まで連絡やメッセージをお待ちしています。

◆今年度は3月の県学会、6月の北九州での九州合同学会、9月の福岡での日本作業療法学会などが待ち構えています。ぜひ参加してみてくださいはいかがでしょうか？

また各研修会等の案内はホームページやFネットでチェックして下さいね♪



佐世保北病院で流行中?!のOT  
ポーズin 県学会会場(2日目)